

平成25年度 教育モニターからの教育情報(情報提供のみ) 9月分

月	住所	性	歳	テーマ及び情報内容	担当課
9	大野町	女	60	<p><b>【 青少年の犯罪について 】</b>                      ここ10年ほどの少年非行に、保護司として感じていることを述べる。面接を通して、少年たちと関わり始めるとほんの2～3ヶ月のうちに「この子たちは、被害者の立場でもあるんだな」と感ずることがよくある。私たちは、社会や家庭の体質を変えることなどできないが、少なくとも学校教育の在り方を見直し、誰しものが魅力を感じることができる、節度ある集団活動の場を提供することができるのではないだろうか。温かい人間関係の形成は、私たちみんなに課せられた使命だと考えている。学校としては、十分にご理解され、精一杯の努力をされていると思うが、全ての教師が行き届いた指導をしているとは思えない。今一度、指導テクニック等の徹底をお願いできたらと思っている。</p>	学校支援課
9	瑞穂市	男	60	<p><b>【 地域の夏休みを振り返って 】</b>                      現在、私たちの市では、5つの活動委員会がある。その中の巢南校区のふれあい部会は、年度始めに基本的な考え方、方針について検討し、夏休みを迎える前には、3本柱であるくラジオ体操・フェスタ・クリーン活動&gt;について、中学生が中心となり、自治会の方と企画の段階から話し合いを行う。夏休み前に開催される、各自治会でのふれあい会議の場にて、各分団長が自分たちの考え方を堂々と発表する。フェスタ会場を瑞穂市の教育長とともに校長先生はじめ役員で巡回しているが、各自治会とも小中学生を全面的にバックアップしていただいている。中学生が、司会進行にはじまり、バザー、ビンゴゲームにと活躍し、子どもたちが地域の中で素晴らしい笑顔を見せてくれる。地域の方々が、地域の一員として子どもたちを認めていただいていることを誇りに思う。これからも、子どもたちが地域の行事に企画の段階から参画をし、活躍の場を作ることができるようにすることが、我々大人の責務であると考えている。</p>	教育総務課
9	安八町	女	60	<p><b>【 夏休み明けの生活リズムについて 】</b>                      夏休み明けから運動会まで現場の先生方は、多忙だったと思うが、その中で子どもたちを指導してくださっていることに感謝したい。                      学校でのある出来事を耳にした。小学校1年生の子が、体調不良を訴え保健室で休むようになった。病院では、いろいろな検査をしたが異常なしとのこと。そこで、母親が担任の先生に相談したところ、教室でのいろいろなことが重なったことが原因ではないかという結論に至った。その後、担任の先生は、声かけをしたり、励ましの言葉を必ずノートに入れたり、また連絡帳にも細かに様子を書くなど、きめ細かい指導をされたそう。そのおかげか、その子は、一週間後には元気に登校できるようになったということである。その子の母親は、「この先生なら安心してお任せできる」と言っておられた。小学校の1年生にとって、夏休みという自由な家庭生活から学校生活に戻るリズムをつくることは、個人差もあると思うが、ハードルが高いのではと思う。保護者の中には、困っていても学校へ相談するのを躊躇される方もいるだろう。9月初めの学校便り等に『相談体制について』の内容を一言入れてもらえるとういのではないかと思います。</p>	学校支援課

9	中津川市	女	40	<p><b>【ラジオ体操について】</b>  夏休みになると子どもたちがラジオ体操広場へ向う。最近、土日は行わない、お祭りの日はやらない。だんだんラジオ体操の開催日が地域ごとにバラバラになり、回数も少なくなってきた。体操をする姿も、以前と変わらず、だらだらと意味もなく手を振り回している。保護者からは、「ラジオ体操を学校で普段やっていないのに、1回の練習では身に付かない。かといって親がしゃしゃり出るのもおかしい。学校ももう少し考えてどうしていいのか教えてほしい」と言っていました。</p> <p>①地域の活動は、どこが指導するのか？保護者の方たちは、子どもに関することは学校へ、地域の子ども会のことも学校だと思っている。</p> <p>②仮に、指導が学校だとしたら、もう少しラジオ体操の指導を徹底するなり、日頃の準備体操等に取り入れたらどうかと思う。運動会のストレッチ体操を見て目をそむけたい保護者の方が多いと聞く。ストレッチもラジオ体操も一つ一つの動きの意味を伝え指導していただくことは可能なのだろうか。</p> <p>③今、地域の教育力が低下しているといわれているが、地域の教育力を指導するところはあるのだろうか。</p>	社会   教育 健康 文化 課
9	中津川市	女	40	<p><b>【卒業式について】</b>  今春、とある県立高校の卒業式に参列した。私の母校でもあり、わが子も3年前に卒業した高校である。今回の卒業式には感動した。校長先生をはじめ諸先生方のご尽力が、生徒・家庭・地域に広がり、社会に巣立つ若者たちを地域ぐるみで見守る体制が整ってきたからなのだろうか。</p> <p>「君が代」で厳かに始まり、卒業証書授与、名前を呼ばれ起立する姿はみな雄々しい。在校生の送辞も、卒業生の答辞も心打たれる力強い意志を持っていた。学校長の式辞、来賓の方の祝辞は、今、まさに希望に胸ふくらませ、社会の荒波に飛び込んでいく若者へのメッセージとしてふさわしく、感銘した。「蛍の光」をうたうとき、思わず涙があふれてきた。厳かな式典、感動の祝辞、18年間支えてきたご両親のご苦労を思い若者の輝かしく激しい未来を思い…蛍の光の歌に特別な思いがあるわけではないのに何故か、心洗われる思いが込み上げてきた。</p> <p>数多くの卒業式に参列させていただいてきた私ですが、今までになく感動と涙の卒業式だった。校長先生をはじめ諸先生方の日頃のご指導に感謝したい。</p>	教育 総務 課